

2021 年度秋季大会の告示

I. 大会の案内

2021 年度秋季大会は、現地開催とオンラインで行う予定です。新型コロナウイルス感染状況によっては、すべてオンライン開催とする場合があることをご承知おきください。

1. 期日

2021 年 12 月 2 日（木）～12 月 8 日（水）

12 月 6 日（月）～12 月 8 日（水）は現地開催で行う予定です。詳細が決まり次第、大会ウェブサイトでお知らせします。

2. 会場

三重大学 三翠ホール他

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

<https://www.mie-u.ac.jp/traffic/index.html>

3. 大会日程

大会は以下の日程で行われる予定です。

第 1 日（12 月 2 日） オンラインポスター講演¹コアタイム

第 2 日（12 月 3 日） オンラインポスター講演コアタイム

第 3 日（12 月 6 日） 午前：口頭発表 午後：口頭発表

第 4 日（12 月 7 日） 午前：口頭発表 午後：授賞式，受賞記念講演，シンポジウム

第 5 日（12 月 8 日） 午前：口頭発表 午後：口頭発表

4. 開催形式

本大会は現地開催・オンラインのハイブリッド形式で開催予定です。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては、現地開催を中止し、すべてオンライン開催とします。現地開催の可否によって、以下のような開催形式となります（次ページの図も参照ください）。

[現地開催が実施される場合]

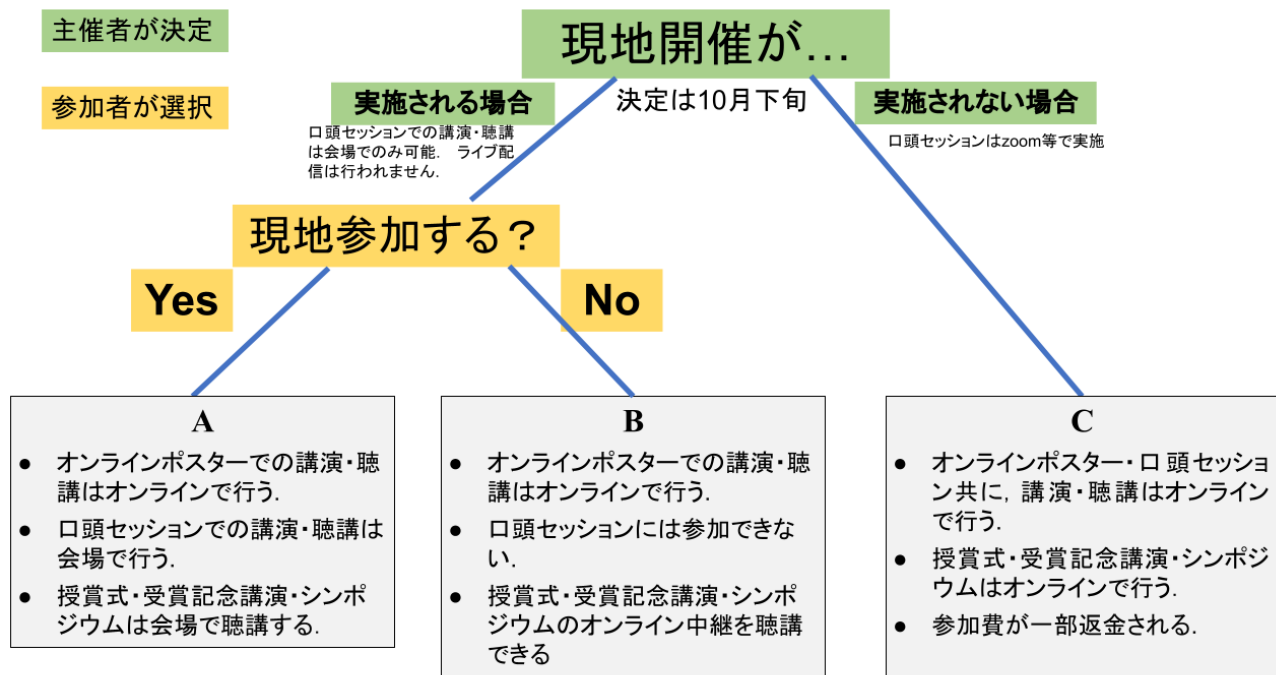
口頭発表者を含む全ての講演者は講演資料を大会ウェブサイト上で公開する「オンラインポスター講演」を行います。参加者は全てのオンラインポスター講演資料を閲覧可能です。口頭発表は現地参加でのみ講演及び聴講が可能です。運営にかかる負担を軽減するため、口頭発表のオンライン中継は行われません。第 4 日午後の授賞式，受賞記念講演，シンポジウムはオンライン中継がなされます。

[現地開催が中止される場合]

口頭発表者を含む全ての講演者は講演資料を大会ウェブサイト上で公開する「オンラインポスター講演」を行います。参加者は全てのオンラインポスター講演資料を閲覧可能です。口頭発表，授賞式，受賞記念講演，シンポジウムはウェブ会議システム (Zoom) を用いてオンラインで行います。

これらに関連して、今大会は参加費や講演方法が従来の大会とは異なっていますので、申込前に必ず下記「II. 大会参加手続き」および「IV. 研究発表要領」もご確認ください。現地開催の可否については 10 月下旬に決定予定です。決定がありましたら、大会ウェブサイト等で連絡いたします。

¹ これまでのオンデマンド講演はオンラインポスター講演へと名称を変更しました。



A, B, Cいずれの場合も、全ての講演者は、口頭発表の有無に関わらず、オンラインポスター講演を行います。

5. オンライン大会の参加にあたって

オンラインポスター形式での講演や聴講、質疑を行うには気象学会 [Google Workspace \(G Suite\) アカウント](https://www.metsoc.or.jp/membersite) (会員) または [Google アカウント](https://www.metsoc.or.jp/membersite) (非会員) が必要です。Google Workspace アカウント発行の申請は、[会員サイト](https://www.metsoc.or.jp/membersite) (https://www.metsoc.or.jp/membersite) より可能です。

6. 懇親会

詳細が決まり次第、大会ウェブサイトでお知らせします。なお、今後の新型コロナウイルス感染状況によっては中止となる場合があります。

7. 大会ウェブサイト

本大会用の大会ウェブサイトを開設しています。大会参加手続き、講演申込み受付、大会プログラム、発表要領、大会発表規程などの詳細につきましては、[大会ウェブサイト](https://www.metsoc.jp/)にて最新の情報を随時更新していきますので、こちらをご参照下さい。URL 等につきましては、[気象学会ホームページ](https://www.metsoc.jp/) (https://www.metsoc.jp/) をご参照下さい。

II. 大会参加手続き

1. 申込形式

講演を行うかどうか、および口頭発表を希望するかどうかによって以下の表のような参加形式で申込をしてください。

口頭発表希望者	現地参加のみ
オンラインポスター形式のみの発表希望者	現地参加の有無を選択してください
聴講者	現地参加の有無を選択してください

2. 参加費、投稿料

2.1 大会参加費、投稿料

- 参加費と投稿料に分離されています。参加費には大会講演予稿集費が含まれます。

- 参加費は、現地への参加の有無にかかわらず同額としています。現地参加しない方に現地で行うシンポジウム等をオンライン中継するために相当の費用を要するためです。なお、現地参加しない方は口頭発表には参加できませんので、ご承知おきください。
- 現地開催が中止の場合、会員・非会員とも1,500円の返金を行います。
- 事務負担の軽減のため、現地開催が実施された場合に現地参加を希望するかどうかについて、参加申込時にお知らせください。現地参加の有無は、参加申込締切（2021年11月10日）までは大会申込システムから変更できます。それ以降に現地参加希望に変更の場合は、現地で受付を行ってください。
- 参加費（消費税込）は以下の表の通りです。

種別	参加費
会員	5,000円
非会員	9,000円

- 投稿料（消費税込）は以下の表の通りです。

投稿料		
種別	1件	2件
投稿料A	6,500円	11,500円
投稿料B	3,000円	6,000円

- 投稿料の種別：
 - 投稿料A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）
 - 投稿料B：投稿料Aに該当しない講演者による投稿
- 投稿料Aの2件目の投稿料は5,000円に割引されます。
- 気象学会会員でない方の講演発表については、「VI. 非会員の大会講演について」、「VII. 団体会員、賛助会員の大会参加について」を参照して下さい。

2.2 その他

- 一旦支払われた投稿料は返却いたしません。参加費も現地開催中止の場合を除いて返却いたしません。
- 参加費・投稿料の種別は、支払い時点での所属によって判断して下さい。一旦支払われたあとの所属変更などによる種別の変更はいたしません（追加の支払い請求や差額の払い戻しなどは行いません）。

3. 講演を行う場合の参加申込方法

本大会告示の後に掲載した「[日本気象学会 大会発表規程](#)」に従って講演の申し込みを行って下さい。

原則として大会ウェブサイト上からオンラインで行って下さい。オンラインで大会予稿原稿を送付できない場合や、クレジットカードによるオンライン決済ができない場合など、止むを得ない事情がある場合は、電子メールによる申込を受け付けます。

なお、大会参加登録、参加費・投稿料支払済みであることを講演申込資格とさせていただきますのでご注意ください。また、非会員の講演申込は専門分科会に限定していますのでご注意ください（VI. 非会員の大会講演について）。

パソコン・タブレット等の端末、インターネット環境等は、各自でご準備ください。

3.1 オンラインによる申込

- 締切：[2021年7月28日（水）15時（日本時間）](#)
- 大会ウェブサイト参照し、指示に従って申し込みをして下さい。
- 大会ウェブサイト上で最初に個人情報とID・パスワードの登録を行います（前回のID・パスワードはそのまま利用することはできません。お手数ですが、改めて個人情報とID・パスワードの登録を行って下さい）。このIDとパスワードによって登録システムにログインし、大会参加登録・講演申込・大会予稿送付・参加費決済などを行います。
- 個人情報とID・パスワードの登録は講演者本人が行ってください。申込締切後、プログラム編成を支障なく進めるために、登録された個人情報は講演者本人のものであることが必要です。また、一つのIDで、講演者の異なる2件の講演申込を行うことは控えてください。ご協力をお願いします。
- 講演申込の前に、予め大会参加登録と参加費・投稿料の払込（クレジットカード決済）を行って下さい。大会参加登録と参加費・投稿料の決済が行われていない場合、講演申込は受け付けられません。
- オンライン決済の際には、個人情報登録者本人以外の名義のクレジットカードも使用可能です。

- ・大会予稿原稿もウェブサイトよりご送付下さい。ファイル形式はPDF（容量の上限は1MB）に限ります。
- ・大会予稿原稿を投稿する際には、ウェブサイト上で著作権委譲に同意する必要があります。
- ・講演に関する要望がある場合は所定の欄に記入して下さい。要望事項は、プログラム編成時に可能な限り考慮するように努めますが、諸事情により要望に沿えない場合があるのでご了承下さい。なお、発表日時の希望は原則として受け付けません。また個別の要望についての回答は致しませんので、併せてご承知おき下さい。
- ・現地開催での口頭発表にはオンラインでは参加できませんので、オンラインのみ参加予定の場合は、口頭発表への申込みはご遠慮いただきますようお願いいたします。
- ・講演申込締切（7月28日（水）15時）までは、ウェブサイト上において、一旦申込んだ講演申込の登録内容の修正や大会予稿原稿の差し替えなどを行うことができます。ただし講演のキャンセルはできません。
- ・締切後の講演申込や大会予稿原稿の差し替え等は受け付けません。

3.2 電子メールによる申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・締切：2021年7月21日（水）
（オンライン申込に比べて締切日が1週間早くなっています。ご注意ください。）
- ・以下の4点を講演企画委員会事務局（下記）まで電子メールにてお送り下さい。
 - ① 大会予稿原稿（PDF形式）
 - ② 講演者氏名（漢字、ふりがな、ローマ字）、所属、所属略称、会員番号（非会員の場合は「非会員」と明記）、口頭発表希望の有無、現地開催参加の有無、連絡先（住所・電話番号・E-mailアドレス）、講演題目、主・副キーワード、投稿料種別（投稿料A/投稿料B）、その他必要事項を書いたもの（様式は自由）
 - ③ 郵便振替払込受領証のコピー（次項参照）
 - ④ 全ての著者のサインを記載した著作権委譲承諾書（フォーマットは以下に掲載）
https://www.metsoc.jp/E/msj_copyright.pdf
- 送付先：kouenkikaku2021a@mri-jma.go.jp
（件名に「講演申込 2021a」と明記して下さい。）
- ・講演申込の前に、以下の要領に従って郵便振替によって参加費・投稿料を納入して下さい。
 - －口座番号は「00130-3-5958」、
 - 加入者名は「日本気象学会」です。
 - －「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。
 - ①「2021年度秋季大会参加申込」と明記
 - ②会員番号（非会員の場合は「非会員」と明記）
 - ③投稿料種別（投稿料Aまたは投稿料B）
 - ④参加費・投稿料金額
 - ⑤合計金額
 - －「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名・電話番号をもれなく記入して下さい。
 - －払込料金は本人負担でお願いします。

3.3 講演のキャンセルについて

- ・講演申込後は、講演のキャンセルは原則として受け付けられません。止むを得ず大会参加や発表を取り止める場合でも、すでに支払われた参加費・投稿料は返却しませんのでご注意ください。
- ・講演者の都合が悪くなった場合の代理発表につきましては、柔軟に対応いたしますので講演企画委員会（kouenkikaku2021a@mri-jma.go.jp）までご相談下さい。ただし、非会員および非参加者による代理発表は認められません。

4. 講演をしない（聴講のみ）場合の参加手続き

以下のいずれかの方法で参加費等を納入して下さい。事務負担軽減のため、なるべくオンライン（大会ウェブサイト）による事前登録をご利用下さい。パソコン・タブレット等の端末、インターネット環境等は、各自でご準備ください。

4.1 オンラインによる申込

- ・締切：2021年11月10日（水）15時（日本時間）

- ・大会ウェブサイトに参加登録し、参加費を払い込んで下さい（クレジットカード決済のみ）。
- ・期日までに参加費の払い込みが済まされない場合は、参加登録は無効となります。
- ・期日までに参加登録を行わなかった場合、大会参加ができなくなりますので、ご注意ください。

4.2 電子メールによる申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・締切：2021年10月31日（日）
（オンライン申込に比べて締切日が約10日早くなっています。ご注意ください。）
- ・以下の2点を講演企画委員会事務局（下記）まで電子メールにてお送り下さい。
 - ① 参加者氏名（漢字、ふりがな、ローマ字）、所属、所属略称、会員番号（非会員の場合は「非会員」と明記）、連絡先（住所・電話番号・E-mailアドレス）、現地開催参加の有無（様式は自由）
 - ② 郵便振替払込受領証のコピー（次項参照）
- 送付先：kouenkikaku2021a@mri-jma.go.jp
（件名に「参加申込 2021a」と明記して下さい。）
- ・参加申込の前に、以下の要領に従って郵便振替によって参加費を納入して下さい。
 - －口座番号は「00130-3-5958」、
加入者名は「日本気象学会」です。
 - －「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。
 - ①「2021年度秋季大会参加申込」と明記
 - ②会員番号（非会員の場合は「非会員」と明記）
 - ③参加費金額
 - ④合計金額
 - －「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名（漢字、ふりがな、ローマ字）・電話番号をもれなく記入して下さい。
 - －払込料金は本人負担でお願いします。
 - －参加費納入に郵便振替を利用する際は、オンラインを用いた参加登録は行わないでください。所定の手続きを取らない場合、参加登録は無効とさせていただきますのでご承知おきください。

Ⅲ. 大会予稿原稿作成要領

1. 原稿サイズ・枚数

1件あたりA4判1枚とします。

2. 作成方法

ファイル形式はPDF（容量の上限は1MB）とします。

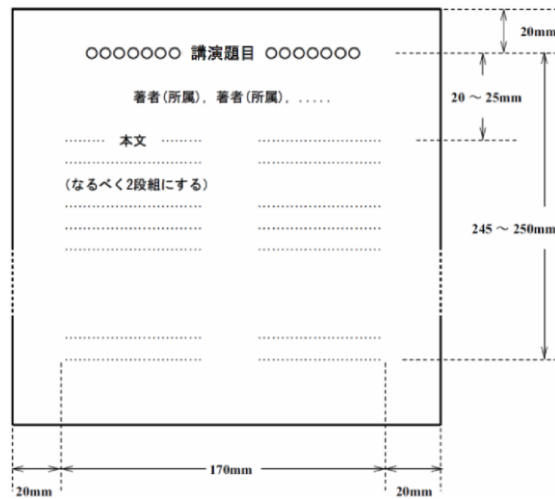
3. 配置（付図参照）

記載範囲は縦250mm×横170mm以内とし、上部には20mmの余白をとって下さい。最上段に講演題目、その下に著者と所属を書き、本文をその下につけて下さい。著者が複数の場合には講演者の左肩に*をつけて下さい。講演題目から本文までの間隔は20～25mmとして下さい。本文は原則として2段組（左半分→右半分）にして下さい。推奨テンプレートが大会ページにありますのでご利用ください。

(https://www.metsoc.jp/default/wp-content/uploads/2017/12/MSJ_Abstract-Template_v4.doc)

4. 著作権

予稿集に掲載された文章および図表の著作権は（公社）日本気象学会に帰属します。



図：A4 判用紙による大会予稿原稿の作成要領

IV. 研究発表要領

1. 一般発表の概要

一般発表は、オンラインポスター講演と現地開催での口頭発表とを予定しています。現地開催が中止の場合、口頭発表をウェブ会議システム(Zoom)に変更の予定です。

1.1 オンラインポスター講演

全ての講演者は次のようなオンラインポスター講演を行います。オンラインポスター講演は春季大会のオンデマンド講演と同じもので、講演者は講演資料（PDFやGoogle スライド、PowerPoint、講演動画等）をインターネット上の所定の場所にアップロードし、運営側が大会ウェブサイト上でそれを公開します。聴講者はそれを閲覧します。質疑は、聴講者が講演資料に対してコメントを残し、講演者が返答する形で行います。また、オンラインポスター講演にはコアタイムを設けます。コアタイムには講演者は google meet や Zoom などを利用して聴講者と議論する場を設定することもできます。

1.2 口頭発表

上記に加えて、希望者による口頭発表を予定しています。口頭発表の希望の有無を、講演申込時に選択してください。大会運営の都合により口頭発表数には上限を設定させていただく場合があります。2件の発表で口頭発表を希望する場合は、優先度について備考欄に記入ください。口頭発表の採否は、9月中旬に連絡いたします。なお、現地開催での口頭発表にはオンラインでは参加できませんので、オンラインのみ参加予定の場合は、口頭発表への申込みはご遠慮いただきますようお願いいたします。また、プログラム編成の都合上、オンライン開催になった場合のみ口頭発表を行いたいといった希望は受け付けられませんので、ご承知おきください。

詳細については大会ウェブサイトにて随時公開していきますので、適宜ご確認ください。なお、講演資料の公開および閲覧については12月2日（木）～8日（水）の間、自由に行う予定です。

2. 専門分科会の概要

専門分科会も、原則、上記と同じ形式で実施します。

- ・専門分科会への講演申込締切日は一般講演と同じ（オンライン申込は7月28日（水）、電子メール申込は7月21日（水））です。
- ・専門分科会に申込まれた発表については、世話人が大会予稿原稿を審査して、専門分科会での発表を認めるかどうかを判断します。
- ・専門分科会に申込まれた発表が、世話人によって専門分科会に適さないと判断された場合には、講演者が気象学会会員の場合は、一般発表に振り替えます。講演者が非会員の場合は、大会予稿は不採択となり、参加費・投稿料が返却されます（VI. 非会員の大会講演について）。
- ・各専門分科会の詳細につきましては、「V. 専門分科会のテーマと趣旨」をご参照下さい。

3. 発表件数の制限

1 講演者あたりの発表件数は 2 件以内とします。ただし内容がほぼ同一と見なされるテーマでの 2 件の発表は認められません。 この制限に抵触する申込があった場合には、講演企画委員会が適切に対応します。

4. 口頭発表における機器の使用について

現地開催での口頭発表（専門分科会を含む）では、PC プロジェクターが使用できます。それ以外の機器は使用できません。

PC プロジェクターを使用する場合は、以下の点に留意して下さい。

- パソコンは各自でご準備下さい。会場にはプロジェクターのほか、VGA ケーブル及び HDMI-VGA 変換アダプタを準備します。VGA（ミニ D-sub15 ピン）、あるいは HDMI（フルサイズ）コネクタを装備した PC を準備ください。
- セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。 接続に不安がある場合は、その際に会場係に申し出て下さい。
- 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をすることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

5. その他

- 発表に使用する PC の OS やウェブ会議ソフト、ブラウザは、最新のものにアップデートすることを推奨します。
- 発表資料のアップロード、公開、質疑応答、ウェブ会議システムの利用に関する詳細は、後日、大会参加者に通知いたします。 質問は、講演企画委員会 (kouenkikaku2021a@mri-jma.go.jp) までご連絡ください。

V. 専門分科会のテーマと趣旨

2021 年度秋季大会では下記の通り、5 件の専門分科会が開かれます。

1. 「気象災害から暮らしを守る啓発・普及活動」

趣旨：気象災害が毎年のように発生し、私たちの暮らしを守る大切さを再認識させられている。気象庁や自治体から様々な情報が発信されているにも関わらず、多くの被害がでている。この現状を踏まえて、気象庁は警戒レベルに対応した防災気象情報を発信し、自らの判断で最善の安全確保行動をとるように促している。また、通信環境が多様化され、行動の判断となる情報がリアルタイムで入手できるようになってきている。個々の様々な生活環境の中で重要となる情報はそれぞれ異なる。各自が地域の状況に照らし合わせて、防災行動に必要な気象知識を深め、情報を効率よく活用する術が求められている。そこで、自らの暮らしを自ら守る適切な行動をとれるようにするには、どのような啓発・普及活動をすればよいか、幅広い視点で議論したい。

世話人：榎野泰夫（日本気象予報士会東海支部）、多々良秀世（日本気象予報士会東海支部）、関谷不二夫（日本気象予報士会東海支部）、川井睦夫（日本気象予報士会東海支部）、鈴木浩文（日本気象予報士会東海支部）、加藤宏明（日本気象予報士会東海支部）、岡田登志恵（日本気象予報士会東京支部）

2. 「宇宙からの風観測が拓く未来」

趣旨：気候変動は世界各地で深刻な気象災害をもたらし、安心安全な社会の実現が求められている。安心安全な社会を実現するために、数値予報に必要な技術開発を推進し、数値予報精度の大幅な向上が必要である。風は基本的な気象要素であるが、数値予報に必要な精度での全球的な風観測は行われておらず、全球での風の高度分布が望まれていた。欧州宇宙機関は、2018 年 8 月に全球の風観測を目的として衛星搭載ドップラー風ライダーを打ち上げ、その有用性を明らかにした。日本でも衛星搭載ドップラー風ライダーが検討されている。気象庁が検討している静止気象衛星の後継機搭載サウンダーからは、高頻度な風の高度分布を算出できる可能性がある。本専門分科会では、宇宙からの風観測に関する講演を募り、理解を深め、宇宙から観測された風情報を有機的に統合し、その価値を最大化させる風観測のあり方や方向性について会員とともに幅広く議論をしたい。

世話人：石井昌憲（東京都立大学），岡本幸三（気象研究所），久保田拓志（宇宙航空研究開発機構），関山剛（気象研究所），宮本佳明（慶應大学），松本紋子（ANA ホールディングス）

3. 「惑星大気研究の現状と展望：探査・観測と理論・数値研究」

趣旨：複数の惑星探査によってデータが蓄積され、同時に将来の計画が検討されている。金星探査機「あかつき」は観測を続けており、平均流や擾乱の構造の理解に迫りつつある。外国の探査機によって観測されてきた火星についても、衛星からのサンプルリターンを主目的とする Martian Moons eXploration (MMX) 計画が日本で検討されており、衛星だけでなく火星本体の観測も予定されている。ガス惑星やその衛星の探査の準備も進んでおり、系外惑星については地上および宇宙望遠鏡を用いた観測が精力的に進められている。他方、それら観測の結果の解釈と理解を進展させるために理論的および数値的な研究が進められており、データ同化を用いた研究も試みられている。本分科会では、それら多角的に行われている惑星の大気研究成果を持ち寄り、包括的な理解を目指して今後の進展を展望する機会としたい。

世話人：高橋芳幸（神戸大学），杉本憲彦（慶應義塾大学），今村剛（東京大学），石渡正樹（北海道大学），中川広務（東北大学）

4. 「気候変動に伴う異常天候のストーリーライン構築について」

趣旨：2018年7月豪雨と猛暑、2019年台風15号の大風や19号の広域洪水被害、2020年7月豪雨など、近年続く記録的な異常天候について地球温暖化の影響が言及されている。気候変動の影響を適切に評価し対応するためには、異常天候が将来いかに変化し得るかを物理的解釈と共にわかりやすく説明する必要がある。気候モデルの予測する将来変化には大循環に関するばらつきも大きく、格子の粗いモデルでは小スケール現象を直接表現できない困難も伴う。その中で、地域スケール気候の将来変化の様々な可能性を見逃さない方法を探るのが「ストーリーライン」の試みである。地域スケールの影響評価や適応研究のためにCMIP マルチモデル予測のばらつきの幅を表現できる少数の代表モデルを選択し、それらの描く将来像の幅を提示することも重要である。本専門分科会では、気候変動に伴う異常天候のストーリーライン構築について活発な議論と研究交流を行いたい。

世話人：高薮縁（東大大気海洋研究所），中村尚（東大先端研究センター），堀之内武（北海道大学），仲江川敏之（気象庁気象研究所），江守正多（環境研究所）

5. 「気象・気候分野における計算科学研究の展望」

趣旨：気象・気候分野はこれまで高性能スーパーコンピュータの進歩とともに発展してきた。特にスーパーコンピュータ「京」（2012年共用開始）、および「富岳」（2021年共用開始）を使って、世界を驚かす先進的な研究が進められてきた。そこで本分科会では、「富岳」の後継も見据え、これまで高性能スーパーコンピュータで得られてきた成果や今後の展望（夢）を参加者と共有することで、気象・気候分野における5-10年後に達成したい科学目標、およびそのために必要な高性能スーパーコンピュータやモデル開発のあるべき姿について議論を行う。次世代を担う若手研究者・学生にもぜひ参加頂きたい。世話人らはこれまで分野横断的な「計算科学フォーラム」の活動に携わってきた。本分科会をきっかけに、計算科学を用いる、気象・気候学と関連他分野との間の橋渡しを担うプラットフォーム形成を目指す。

世話人：足立幸穂（理研計算科学），大塚成徳（理研計算科学），小玉知央（JAMSTEC），寺崎康児（理研計算科学），河宮未知生（JAMSTEC），滝川雅之（JAMSTEC），富田浩文（理研計算科学），三好建正（理研計算科学）

VI. 非会員の大会講演について

気象学会会員でない方は原則として大会講演を行うことは出来ません。しかしながら、短期滞在の外国人や他分野の研究者が気象学会において講演を行う場合を考慮して、講演企画委員会では専門分科会に申込まれた講演が世話人により採用された場合に限り、非会員の講演を認めることとします。非会員が専門分科会に申し込んだ講演が採用されなかった場合は、大会予稿は不採択となり、参加費・投稿料が返却されます（講演者が気象学会会員の場合は、専門分科会で不採用になったとき、世話人と講演企画委員会の判断により一般発表への振替が行われます）。講演企画委員会としては、大会での講演発表を希望される方には、気象学会会員になって頂くようお願い申し上げます。

Ⅶ. 団体会員、賛助会員の大会参加について

団体会員、賛助会員は、2名まで個人会員と同等の扱いで大会に参加することができます。講演申込の際には、予稿原稿の著者欄に下記のように団体を記述してください。

〇〇〇会社（講演者*、共著者、・・・）

また参加申し込みの際には、会員番号は団体会員・賛助会員の番号を、所属略称の末尾に「・団体会員」または「・賛助会員」を付記するようにしてください。

Ⅷ. 研究会活動の支援について

大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動（一般の会員が自由に参加できるもの）に対し、支援を希望する方は、次の事項を明記した原稿を、講演企画委員会（E-mail: kouenkikaku2021a@mri-jma.go.jp）へお送り下さい。

申込期限：2021年8月25日（水）

記入事項：1. 会の名称とテーマ

2. 代表者の連絡先

3. 日時・開催方式（現地会場の利用の有無・ウェブ会議等）

4. 予想参加人数（現地開催の場合のみ）

5. 趣旨

6. プログラム

7. 希望する支援内容（予稿集への案内掲載、現地会場利用等）

Ⅸ. 大会期間中の保育支援について

大会実行委員会では、大会期間中に保育支援を行う方向で考えておりますが、コロナ禍における社会情勢の変化を見極めて検討を続けております。受け入れ先、手続きおよび補助額等も含め、決定次第、学会ホームページや大会ウェブサイトでお知らせいたします。

Ⅹ. キャリアエクスプローラーロゴについて

1. キャリアエクスプローラーロゴの趣旨

近年、社会問題化している若手・任期付研究者のキャリア形成をサポートするために、日本気象学会では、キャリアエクスプローラーロゴの利用を勧めています。これは、広く学術に貢献する人材の育成および活動支援の一貫として行うもので、会員が望ましいキャリア形成のために求職中の場合に、適職に出会うのをサポートします。

2. キャリアエクスプローラーロゴ

大会予稿や講演資料の中でこれを表示することで自分が求職中であることを表明できます。カラーと白黒のロゴの電子データを学会ホームページから取得できます。

3. 使用方法

ポスドクを含む任期付研究者や学生で求職中の会員、またはそれに準ずる会員が講演する場合に、大会予稿および講演資料の中で、キャリアエクスプローラーロゴを使用できます。

1. 大会予稿：白黒ロゴを、講演タイトルの左側に、余白にはみ出さないよう適度な大きさと挿入してください。

2. 一般発表：発表資料の任意の場所に分かりやすく表示してください。

4. 使用に関する注意

1. 日本気象学会およびその会員の主催する講演会においてのみ使用できます。

2. 講演会は学術的な講演・議論を目的に行われます。発表の時間内は、求職・求人に関する議論はご遠慮ください。
3. ロゴは講演者本人の責任の下で使用してください。その使用により生じた如何なる利益・不利益に対しても、日本気象学会は一切責任を負いません。
4. ロゴ導入の趣旨および適切な使用方法を逸脱した使用は一切認められません。

XI. リクルートブースの設置について

日本気象学会では、気象学会に所属する大学院生や有期雇用の若手研究者のキャリア形成をサポートするため、企業の就職担当者と就職を希望する参加者が直接情報交換する場として、リクルートブースを設置する予定です。参加企業名およびブース開設期間など詳細については大会プログラムとともにお知らせする予定です。

ハイブリッド開催となる 2021 年度秋季大会での講演は、これまでの大会で行われてきた講演（口頭発表及びポスター発表）と同様に扱われ、次の大会発表規程に準拠します。

公益社団法人 日本気象学会 大会発表規程

（公社）日本気象学会 講演企画委員会

1. 大会の趣旨

- 1.1 日本気象学会は、気象学の研究を盛んにし、その進歩をはかり、学術文化の発達に寄与するために、気象学会大会を春季と秋季の年二回開催し、気象に関する研究会および講演会を行う。

2. 大会参加登録

- 2.1 大会において口頭発表またはポスター発表を行う者（招待講演者も含む）は、あらかじめ大会 WEB サイトを通じて個人情報登録ならびに大会参加登録・参加費決済を行うこと。
- 2.2 大会で講演（口頭発表及びポスター発表）を行うためには、招待講演者の場合を除き、大会予稿を投稿し、講演企画委員会（以下、「委員会」という。）により採択される必要がある。
- 2.3 個人情報登録と大会参加登録は本人が行うこと。連絡先は本人に必ず連絡が取れる所とし、代理人の連絡先は認めない。事情に応じて事務局から問い合わせを行うことがある。ただし国外からの参加登録、外来研究者による参加登録、インターネットを利用できないなど、本人による登録がやむを得ず困難な場合には、代理人による登録ができる。

3. 大会予稿の作成

- 3.1 大会予稿の形式等に関しては、大会告示案内（大会 WEB サイトに掲載）に従うこと。

4. 著作権の委譲

- 4.1 本予稿原稿の著作権は、日本気象学会常任理事会決定「気象学会の刊行物の著作権委譲の強化について（2013 年 1 月 29 日付け）」にもとづき、気象学会に委譲するものとする。

5. 大会予稿の投稿

- 5.1 大会予稿の投稿は、発表者が指定された期日までに行うこと。投稿に際しては、共著者の了承を得るとともに、全ての著者のサインを記載した著作権委譲承諾書を提出すること。国外からの投稿、外来研究者による投稿など、発表者による投稿がやむを得ず困難な場合には、代理人による投稿ができる。なお、発表者の承諾を得ずに代理投稿された場合には、それを受理しない。
- 5.2 同一発表者による発表可能件数は、最大二件までとする（招待講演もカウントする）。

6. 審査

- 6.1 委員会は、審査により、大会予稿の採択または不採択を決定する。大会予稿の採択または不採択は、委員会の裁量に委ねられ、以下に示す例のように、大会予稿の内容が気象学会大会発表として不適切だと委員会が判断した場合には、不採択とすることが出来る。
 - (1) 発表内容が他人の研究成果の剽窃と判断される場合、
 - (2) 大会予稿が定められた体裁から著しく逸脱すると判断される場合、
 - (3) 発表内容が社会倫理上、不適切と判断される場合、
 - (4) 発表内容が特定の個人ないし団体を誹謗中傷するものと判断される場合、
 - (5) 大会の趣旨を逸脱した目的のために投稿がなされたと判断される場合、
 - (6) その他大会の趣旨に鑑み、発表内容が不適切であると判断される場合
- 6.2 発表形態（口頭発表またはポスター発表）は、発表者の希望を考慮し、委員会が決定する。
- 6.3 大会予稿が不採択となった場合には、委員会から投稿者に対して理由を附して通知する。この場合、大会参加料（または参加種別による差額）は返却する。
- 6.4 不採択の理由を不服とする場合には、発表者本人が一回に限り再審査を申し立てることができる。

7. 再審査

- 7.1 再審査の申し立ては、申し立て者の氏名・連絡先、講演題目、著者、および再審査申し立ての理由を記載した再審査申立書（様式は任意）を、委員会事務局宛に提出すること。
- 7.2 再審査申立書の提出は郵送で行い、不採択の通知を受けた日を含む七日間のうちに必着のこと。
- 7.3 再審査申し立てに際して、大会予稿の変更は認められない。再審査は委員会が行い、結果（採択・不採択）を申し立て者に通知する。

8. 採択後の変更・キャンセル

- 8.1 採択後に講演内容（講演題目、大会予稿）や発表形態を変更することは認めない。
- 8.2 病気等やむを得ない事情で発表をキャンセルする場合は、速やかに委員会事務局に連絡すること。発表がキャンセルとなった場合には、大会参加料は返却しない。